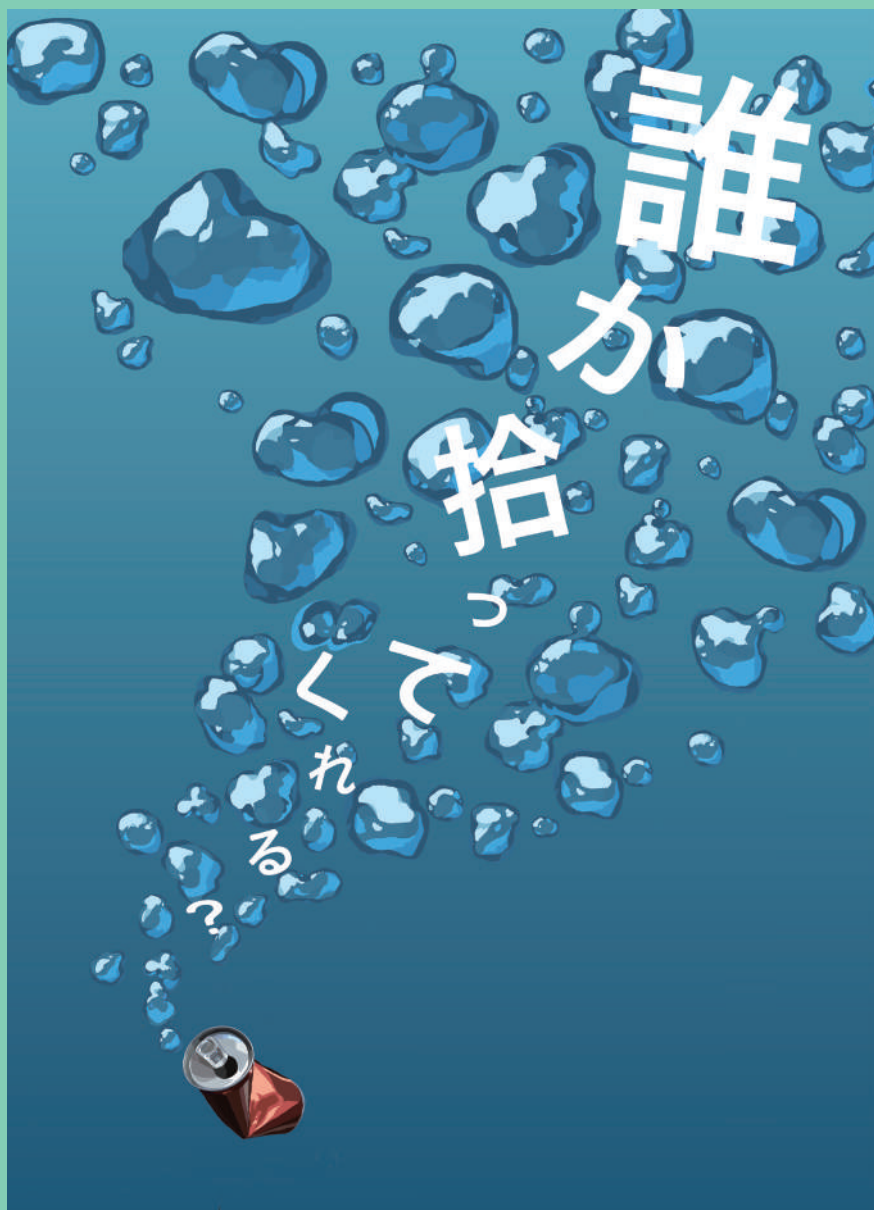


見えないところに目を向ける。

海を汚すゴミといったら、海岸に流れ着いた「漂着ゴミ」を想像しますが、私たちの目に見えないところにある「海底ゴミ」も環境問題の一つになっています。あまり認知されていないこの問題について、もっと目を向けてほしいと思います。今年、長崎県展のデザイン部門で平戸市議会議長賞を受賞した作品です。



長崎県美術展覧会 平戸市議会議長賞
題名「拾えないゴミ」

ここに注目!

“町民の声”

— 中学校の部活動編 —

はさみ

No.164 令和5年11月号

議会だより

今月の
はさみの人

つじ あおい
辻 彩碧さん
波佐見高校 美術・工芸科2年



議会情報

議 長 あ い さ つ

波佐見町議会
議長 百武 辰美

暦の上では「立冬」が過ぎ、これから冬を迎える季節になりました。

異常気象の影響なのでしょうか、今年も風水害等が各地で多発しましたが、波佐見町では幸いにも大きな災害は発生しておりません。

さて、これから令和6年度に向けた予算編成が進んでまいります。議会としましては、令和4年度の決算を終えて、そこから見えた課題も含めて、各課の令和6年度の施策に少しでも町民の皆さんの意見が反映されるよう委員会等での調査研究を進めてまいります。

また、議会では町内の各種団体様と意見交換を積極的に行っておりますので、ご活用いただき、皆様のご意見をお聞かせください。

今後とも、波佐見町議会の活動にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



委員会 レポート

議会運営委員会

9月議会定例会（9月5日～28日）では、10名の議員がまちづくりのため、町政に対し一般質問を行いました。議場の傍聴者や、ケーブルテレビ等でご視聴いただいております町民のみなさんにわかりやすい一般質問となるよう、モニターを活用した質疑を行っています。

来年10月の町議会改選では、2名減の12名となることから、改選後の議会の常任委員会、特別委員会の構成など在于方についての検討する。また、議会広報、議会モニター制度など、議会運営全般に対する意見、提案等について、検討・協議を進めていきます。

〈9月定例会における動き〉

- ① 8月16日 提出予定議案、招集日、会期日程、一般質問の通告について
- ② 8月23日 一般質問の事前内容審査について
- ③ 8月28日 議長諮問、一般質問内容審査について
- ④ 9月20日 追加議案について
- ⑤ 10月11日 9月定例会の反省、町政に関する要望について・傍聴規則の見直し



総務文教委員会は、6月30日に総務課、8月2日に教育委員会の調査を行った。

調査のまとめ

調査項目1（総務課）令和5年度地域防災計画、防災備蓄、危険箇所等について

ここ数年、防災に対する国民（町民）の意識や関心は、相当高まっているが、毎年、必ずと言っていいほど大きな災害が発生し、多くの犠牲者や被災者が出ている。

町の対策も避難所の開設や情報提供、備蓄資材・食糧の充実など、随分と改善していると思われる。しかし、自治会未加入世帯に対しては、情報が行き届きにくいところがあるため、こういった形での情報提供の手段があるのか改めて調査研究が必要である。自然災害はいつ発生するか分からない。3年8月の災害は記憶に新しい。それ以上の豪雨や大型台風の襲来を想定して、対策をしておくべきである。

調査項目2（教育委員会）総合文化会館、農民具資料館の管理と運営について

教育委員会事務局移転後の総合文化会館の利活用については、教育・文化部門の充実を更に図るべきである。図書館の現況は、職員の休憩・蔵書・資料の修繕等のスペースが不足している。

また、農民具史料館は、収集資料の収蔵庫不足から、増築工事を計画したが、土砂災害対策工事が必要であるため中止となった。今後、同館は老朽化等による大規模な修繕も必要となる。

収蔵庫不足は慢性的に生じることになる。学校の空き教室利用等を含めて、対応を考える時期に来ている。



産業厚生委員会は、7月20日～21日に福岡県内において行政視察を行った。

視察先及び視察項目

- ・ 田川市……………浄化槽設置整備事業
- ・ 糟屋郡宇美町……………AI活用型オンデマンドバス事業（地域交通対策）
- ・ 福岡市……………防災体験（福岡市民防災センター）

調査のまとめ

1. 浄化槽設置整備事業

田川市の課題は本町と同じ状況にあり、以下の点において参考となった。

- ・ 浄化槽事業の広報活動の充実。
- ・ 浄化槽設置整備事業補助金の見直し。
- ・ 維持管理、修繕費及び浄化槽入れ替え(更新)に対する補助。

これらを充実することによって、本町の汲み取り対象者(約3500人)に快適な生活を送ってもらう事を目指している。

2. AI活用型オンデマンドバス事業

- ・ 宇美町では、目的地を自由に選べるのが最大のメリット。
- ・ 予約が必要であるところは、本町と同じであり利用数が伸び悩んでいる一因と考えられる。
- ・ 交通弱者対策として十分か疑問がある。

本町においては、2つのバス路線があるが赤字路線もあり総額で4千万円強の補填を行っている。現状を含め、廃線も視野に入れて、近隣の有田町や東彼杵町の地域交通対策を研究し、西九州新幹線の嬉野温泉駅や武雄温泉駅を含めた交通体系を見直す時期に来ている。早急に検討委員会を立ち上げて対策を講じなければならない。

令和5年 第3回 9月 定例議会 議案審議

補正予算

議案第71号 令和5年度波佐見町一般会計補正予算(第3号)

可決

補正額	1億3,000万円の追加	補正後の予算総額	106億8,900万円
人事異動による補正のほか、主なものは以下のとおり			
光熱水費(電気)	3,060万円増	国県支出金返還金	2,345万円増
公用車購入費	420万円増	電算システム改修費	476万円増
町道鹿山飛瀬線測量設計委託料	600万円増	こども家庭センター管理費	775万円増
町道改良・舗装工事費	800万円増	浄化槽補助金	661万円増

議案第72号 令和5年度波佐見町国民健康事業保険特別会計補正予算(第1号)

可決

補正額	4,500万円の追加	補正後の予算総額	16億3,700万円
-----	------------	----------	------------

議案第73号 令和5年度波佐見町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

可決

補正額	5,500万円の追加	補正後の予算総額	14億2,000万円
-----	------------	----------	------------

議案第74号 令和5年度波佐見町上水道事業会計補正予算(第1号)

可決

収益的予算の補正額	収入	1,452千円の追加	支出	700千円の減額
-----------	----	------------	----	----------

議案第75号 令和5年度波佐見町下水道事業会計補正予算(第1号)

可決

収益的予算の補正額	収入	5,083千円の減額	支出	694千円の減額
資本的予算の補正額	収入	865千円の減額	支出	534千円の減額

条例制定

議案第76号 波佐見町選挙公報の発行に関する条例

可決

今回の町長及び町議の一般選挙から選挙公報を発行できるようにする条例
新聞折込を利用するほか、役場庁舎その他適当な場所に置き、選挙人が入手しやすいようにするもの

条例改正

議案第77号 波佐見町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

可決

事業者の固定資産税の課税免除に係る要件の適用期限を延長するもの

賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

臨時 8月	議案No.	議員名													議会の 結果
		1 前田 博司	2 濱本 秋人	3 澤田 昭則	4 岡村 真由美	5 田添 有喜	6 岡村 達馬	7 福田 勝也	8 城後 光	9 横山 聖代	10	11 北村 清美	12 脇坂 正孝	13 尾上 和孝	
9月 定例 会	補正予算	令和5年度一般会計(第2号)													可決
	契約	波佐見町新庁舎建設工事請負契約の変更													可決
	補正予算	令和5年度一般会計(第3号)													可決
		令和5年度特別会計 国民健康保険(第1号)、介護保険(第1号)													
	条例	令和5年度公営企業会計 上水道(第1号)、下水道(第1号)													可決
		波佐見町選挙公報の発行に関する条例 波佐見町地域経済牽引事業の促進による地域の成長 発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関 する条例の一部を改正する条例													
	財産取得	総合文化会館大ホール舞台諸幕更新業務													可決
		コピー複合機購入事業 職員情報端末													
	財産取得 の変更	新庁舎議場等会議システム													可決
		波佐見町新庁舎什器(その5)													
	契約	榊木場地区急傾斜地崩壊対策工事請負契約の変更													可決
		西ノ原土地区画整理事業区画道路6-7号線道路築造工事 請負契約の締結													
		波佐見町新庁舎什器購入事業物品売買契約の変更 (その1)、(その2)、(その3)、(その4)													
	決算	波佐見町新庁舎建設工事請負契約の変更													可決及び認定
令和4年度一般会計 令和4年度特別会計(国民健康保険、 後期高齢者医療、介護保険、公共下水道)															
人事	令和4年度公営企業会計剰余金の処分及び決算の認定 (上水道、工業用水道)													同意	
	教育委員会委員の任命(1名)														
諮問	教育長の任命													同意	
	人権擁護委員候補者の推薦(2名)														

今回も、分科会方式による決算審議を行った。

総括的な所見としては、4年度の歳出総額は前年と比べ減少した。要因は、新庁舎建設事業や災害復旧事業の影響により投資的経費の割合が大幅に増加したが、新型コロナウイルス感染症対策等関連の大幅減により、扶助費が減少したことがあげられる。

財政運営については、前年度に引き続き実質公債費比率の改善が見られたが、依然として依存財源の割合は大きく、財政基盤の安定性に乏しい財政構造に変わりはない。

国の経済においては、激動する世界情勢に起因する物価高騰等に左右されながらも、個人消費や設備投資の持ち直しが見られるが、地方自治体においては人口減少や少子高齢化などの大きな課題を抱えている。

引き続き効率的で有効な財政運営を図りながら、現状を町民と共有し、官民一体となつての行政執行を望むものである。

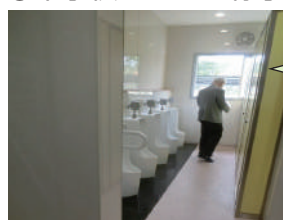
現地確認報告

※現地確認日時：令和5年9月15日（金）午後2時30分から

<第1分科会>

本分科会では、令和4年度に改修された町内小中学校のトイレを代表して中央小学校と中学校の現地確認を行った。両校とも洋式化されており、清潔で明るく使いやすいトイレに改修されていた。

①中学校トイレの様子



清潔感のある
明るいトイレ
に改修

手洗い場も
きれいに改修



②中央小学校トイレの様子



一部改修
された
手洗い場

子どもたちが
使いやすい
トイレに改修



<第2分科会>

本分科会では、商工観光課、農林課、建設課の現場8か所の確認を行った。



HASAMIキャンプサイトパーク（商工観光課）

キャンプ場のテントは完成しているもののトイレの改修工事等環境設備が完成していないため、供用開始が始まっていない。

いちごハウス（農林課）

町の農業振興と新しい形の農業形態への積極的な取り組みを感じる。



林道金屋線災害復旧工事（建設課）

町と県が一体となった災害復旧工事であり、立派に完成していた。

町道開田線道路災害復旧工事（建設課）

左側法面が大きく崩壊していたが、大型ブロックで強固に復旧されていた。



決算特別委員会 Q&A

《歳入》

寄付金

Q ふるさとづくり応援寄附金の総額は。

A 約19億3473万円。

Q 場外舟券売り場（ポートピア波佐見）協力費の寄附金額は。

A 2162万2千円。

町税

Q たばこ税は。

A 8665万7千円。



《歳出》

企画財政課

Q 自治会全体の活動支援に自治振興交付金は。

A 総額1800万円。

Q 波佐見高校支援事業は。

A 2129万2千円。

入学者数が22名増加。

長寿支援課

Q 移動支援の高齢者タクシー利用助成事業は。

A 交付者数は1177人で利用率は71.3%。

Q にこにこ入浴券交付事業は。

A 対象者4703人で利用率は39.3%。

子ども・健康保険課

Q 保育施設等物価高騰対策支援事業は。

A 児童1人あたり月7百円、最長6か月部分の副食費の助成。

水道課

Q 浄化槽設置整備事業は。

A 合計28基の浄化槽に補助。約1650万円。

農林課

Q 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策（国庫事業）は。

A 捕獲経費の助成でイノシシ成獣468頭、幼獣で396頭。アライグマ・アナグマ115頭。



Q 波佐見町農業資材価格高騰対策緊急支援事業は。

A 3法人、1団体に支援。

Q 波佐見町肥料価格高騰対策緊急補填事業は。

A 3団体に補助。

Q 新規就農者支援事業費補助金額は。

A 2名に487万4千円。

商工観光課

Q 波佐見町プレミアム商品券事業は。

A 登録事業所は233店。約2億4千万円分の商品券が使用され経済還流効果をもたらした。



Q HASAMIキャンパスサイトパーク整備事業は。

A 費用は約1005万円。令和6年度開業予定。



Q 廃石膏リサイクル構築事業額は。

A 循環の輪の構築及び利活用で約1022万円。

Q 町燃料費等高騰対策支援事業(事業者対象)は。

A 支援金上限10万円、支給件数506件、支給額は4261万6千円。

Q 川棚内海路線バス運行費の助成で町負担額は。

A 減額で約1300万円。

Q 予約制乗合交通(のんなっせ号)の運行は。

A 乗車人数は2219人。

Q 波佐見有田IC岩峠駐車場運営業務の状況は。

A 利用台数は2万7518台で売上額は268万9200円。

Q 消費生活相談は。

A 82件の相談で前年より21件増。通信・訪問販売等その他トラブルが発生。



住民福祉課

Q 桜つつみモデル事業等の河川公園路面改修費は。

A 1525万円の工事費で年次計画的に整備。

Q 野良猫の不妊・去勢手術の補助金実績は。

A 8匹で、5万7千円。

総務課

Q 高齢者運転免許証自主返納支援事業は。

A 返納者の件数は62件。

Q 佐世保市に委託の広域常備消防及び緊急業務は。

A 委託費は1億9440万4千円で波佐見出張所による救急搬送件数は令和4年中で618件、火災件数は8件。

教育委員会

Q 図書館の利用状況は。

A 貸出冊数1万9282冊、貸出人数5926人。



Q スポーツ振興補助金は。

A 全国大会31件、九州大会43件、合計284名で559万6668円。

Q 講堂の利用状況は。

A 年間利用件数24件、利用者数8285人。一般開放245日間、来館者数8362人。

後期高齢者医療特別会計

Q 後期高齢者医療特別会計で1人当たり医療給付費は。

A 109万2665円。県内で3番目に高い金額。

介護保険事業特別会計

Q 介護保険事業で要介護認定者数は(令和5年3月現在)。

A 744人。(前年度比41名減)



部活動の地域移行について

1 休日の部活動は、地域の方が指導されるようになります。どのような不安がありますか。

- 平日の部活動の指導は誰がするのか。
- 地域の指導の方は、休日の部活動にしか来られないのか。
- 大会の申し込みや参加の計画等は、誰がするのか。
- 部活中の体調不良やケガの対応は？
- 地域の指導者への謝礼や交通費等の負担がかかりすぎるのではないか。
- 競技等の経験者が指導されるのがいいと思う。



40代 保護者 女性

- 現状のままにできないのか。クラブチームとの違いが分からない。
- 地域で指導者を見つけるのがとても大変である。



60代 指導者 男性

- 中学校部活動には結構な量の事務手続きが必要である。将来的に学校内に事務局を置けなくなった場合、設置場所・事務局員等の確保が必要になるが、できるのか気になるところ。
- 指導者が勤務の都合により平日指導につけない場合、部活の在り方が課題（教職員もつけない場合）。
- 民間移行後、無理のない会費の負担を願いたい。多額になると継続できない家庭もある。
- 怪我等が発生した場合の責任の所在がどこになるのか。大事故の場合、民間サイドで責任を持って対応ができるのだろうか。



70代 指導者 男性

- 子どもたちにとって中学校でのスポーツや文化活動の選択肢がなくなっていくのではないかと不安である。
- 教員の休日対応、外部指導者の平日対応、また事故や怪我等の発生時の対応に不安がある。

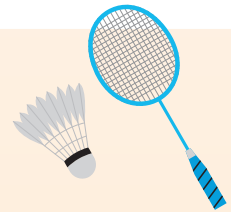
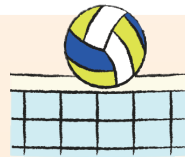
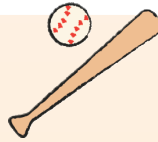


40代 男性

- 受け皿となるスポーツ団体や指導者が町内や近隣にあるのか（おられるのか）。
- 指導者と学校との連携はどのようになるのでしょうか。
- 地域移行ではなく地域雇用のひとつとして確立し、責任を持って子どもたちの指導をお願いしたい。
- 専門性や資質を有する指導者が確保できるのか。
- 練習場所や費用等が負担となり、続けられない子どもが出てしまうと本末転倒。
- 教室には入れないが部活動には行く気持ちがある子どもたちに対しての影響もある。



30代～50代 保護者 男・女性



2 町や議会にどのような要望がありますか。

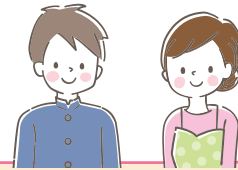
- 地域の指導者が指導を継続できるような謝礼や職場での配慮をお願いしたい。

40代 保護者 女性



- 部活動の地域移行でのメリット・デメリットを具体的に提示し、地域移行を行うようにしてほしい。

40代 保護者 女性



- あくまでも中学生が主役である。休日の練習時間などのルールを決め、大会等は平日に行うことも考えていかなければならないと思う。

40代 男性



- 町が中学校の部活動継続をサポートする制度の構築を望みます。

40代 男性



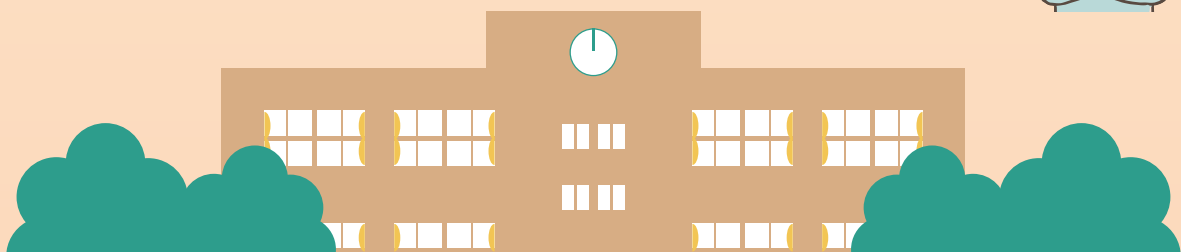
- 時代の進展と世の中の急速な変化に伴い新たな地域課題が生じている。課題解決に向けて地域の実態や住民の声を把握し、住民の期待に応えられる行政を推進してほしい。
- 議会の教育委員会部局に対する一般質問では、学校教育についての質問が多く、社会教育に関する質問が少ないように思う。地域コミュニティの衰退等の実態の中で心の通いあう地域社会づくりの推進を担う社会教育の果たす役割は大きく、行政と住民が一体となった町づくりに取り組んでいただきたい。

70代 指導者 男性



- いじめについて、幸いに本町では余り耳にしないが発生する前に十分な指導や教育が必要と考えます。

60代 男性



9月
定例会

一般質問

一般質問の動画は、顔写真横のQRコードから。

マイナンバーカード
記載上のトラブルは

県道・町道の速度
規制の見直しは

暑さ指数計の
備えは

各基金の活用
計画は

学力向上に
おける課題は

ページ	議員名	質問項目
11	岡村 達馬	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード ・波佐見町の人口減少における対策
12	田添 有喜	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災 ・道路の安全確保 ・教育行政（部活動の地域移行）
	・ 岡村真由美	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ等 ・自然災害に関する情報の発信
13	福田 勝也	<ul style="list-style-type: none"> ・基金の繰入や活用 ・観光案内所
14	横山 聖代	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けての取組
	・ 城後 光	<ul style="list-style-type: none"> ・就農者に対する環境支援 ・子供たちの居場所作り
15	前田 博司	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通 ・公共工事等の発注
16	濱本 秋人	<ul style="list-style-type: none"> ・本町のスポーツ振興 ・県道沿いの歩道整備 ・河川の浚渫工事
	・ 脇坂 正孝	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎へ移転後の役場新館及び総合文化会館の再利活用 ・鴻ノ巣公園の整備
17	北村 清美	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の財政状況等 ・職員等の働き方改革



岡村 達馬 議員

人口減少が著しい

町長

あらゆる施策を展開している



議員 町長 **議員**
今までに交付した枚数と交付率は、交付枚数は約1万2千枚、交付率は約82%。マイナンバーカードの記載内容でトラブルはなかったか。



高い交付率のマイナンバーカード

マイナンバーカードは国の指針により、本町でも普及に取り組んでいる。

議員 町長 **議員**
本町の人口は減少を続け、14,000人割れが目前にきている。
議員 移住・定住促進と人口減少対策の各制度によるこれまでの実績と現状は。

町長 普及促進や申請サポートで土日や夜間、行事に出向いて受付を行った。全国的には問題も発生しているが本町では起きていない。

町長 現在までにトラブルは確認できていない。マイナンバーカードの急速な普及が自治体や職員の働き方にしわ寄せがきている。問題点を把握しているか。

波佐見町の移住定住補助金制度

- ★ 移住支援補助金制度
- ★ IJUターン奨励金補助金制度
- ★ 定住奨励金交付制度



波佐見町HP

町長 定住奨励は2009件、IJUターンで236件である。人口減少や歯止めをかけるためにあらゆる施策を展開している。

町の人口減少は以前1000人減るのに50年掛かったが、今は10年かからない。早急な対策が必要である。

つぶやき

議員 人口流出を防ぐための対策を講ずるべきだと思うが。
町長 町民の皆さんには住民サービスからすでにやっつけてはいるが、住んで良かったと思う施策の検討を進めて行きたい。

10人が登壇



地元農産物を盛り上げる取組みは



電子入札導入の時期は



河川の浚渫工事計画は



移転後の教育委員会事務局の管理と運営は



本町の財政状況は



岡村真由美 議員



議員 南小学校区の「学童」では古い民家が使用されている。交通安全面で

放課後児童クラブ（学童保育施設。以後「学童」と略）が、町内でも20年程前から各小学校区に開設・運営されている。



東彼杵町の公設「学童」

町長 発生してはいないが、可能性はある。町が作ったハザードマップや防災マップを活用してもらいたい。

議員 これまで町内で線状降水帯が発生した記録はあるか。また今後、発生の可能性は。

教育長 各校3〜4台は備えている。文部科学省のガイドラインに沿って使用している。

議員 他県では部活動帰りの生徒が熱中症で死亡する事件が発生した。学校に「暑さ指数計」は備えているか。

町道の速度規制の見直しは

町長

川棚警察署に相談したい



田添 有喜 議員

町長

避難所の運営を自治会組織が行うことを



大雨で増水した河川

議員 公民館以外に身近な避難場所の指定や環境整備はできないか。

地球温暖化等により、毎年甚大な災害が発生している。これまでの考え方では対応できない状況にある。

町長

速度の取締りなど他の地区からも要望がある。警察の考えも聞いてみたい。

議員 道路や町道の速度規制を見直す考えはないか。

道路整備は町民の生活や町の発展に大きな影響を及ぼす。

町長

助成は大変厳しい。

支援事業に取り組んでいる。警戒区域から転居（新築補助）に取り組めないか。

考えるのと分散するより一か所が効率的である。全国では、災害を起こさない対策として

中学校の部活動は、大きな教育的成果を上げてきた。地域移行により子供たちは、

町長 地区から上がっている。順を追って確認している。

議員 鮎帰今熊線（長野郷）の幅員の拡幅はできないか。



速度変更を望まれる交差点

災害対策として、**つばやき** 互近助力が必要とだといわれる。

隣保班内の関係を良好にし、いざという時に支え合う関係を構築する時がきた。

教育長 まずは、教職員や外部指導者の方、今後指導を希望される方への意向調査を行っていく。

議員 どのように守られるのか。指導者の確保について、どのように取り組んでいくのか。



福田 勝也 議員

ふるさとづくり応援基金の活用は

町長

寄附者の意向に沿って活用する



町長 目的などから今後も必要で廃止・統合が
できないものが7基金ある。それ以外の9基金は廃止・統合すべきと判断し、県にも確認しながら、整理に向けた検討を進めている。

議員

積立基金として、財政調整基金、庁舎建設基金ふるさとづくり応援基金など16もの基金がある。

各基金の中で積立額、取崩額が数年ない基金もあり、整理していく必要もあると思うが、どのように検討しているのか。

ふるさとづくり応援基金

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
寄附金	898,497	1,400,171	1,763,954	2,037,951	1,934,731
積立額	441,774	703,160	848,955	991,297	929,506
積立率	49.2%	50.2%	48.1%	48.6%	48.0%
取崩額	138,500	250,500	460,800	715,500	677,000
残高	579,745	1,032,405	1,420,560	1,696,357	1,948,863

町の玄関口の一つである岩峠駐車場に観光案内所が設置してある。

町長 実施する事業において、一般財源や特定財源で事業費を賄いきれない場合に、その目的が一致する事業に対して活用していきたい。

議員

各基金の活用計画は。

町長

上表のとおり。

議員

ふるさとづくり応援基金の過去5年の寄附額、積立額、取崩額、残高は。

ふるさと納税の寄附者の意向は、「次世代を担う子供たちの健全育成に関する事業」が最も多い。寄附者の意向に沿った活用を期待する。

つぶやき



議員 観光案内所の移転の考えは。

町長

現在の場所に引続き設置したい。利用状況の推移や観光客の周遊状況等を把握しながら検討していく。

南小学校区の「学童」について、進展は

町長

手を尽くしていない訳ではない

議員 東彼杵町では、開設後程なく公設民営となつている。本町が公設民営化できない理由は何か。

町長

承知している。

の不安も指摘されているが。

この夏は風水害の発生は免れたものの、災害級の猛暑が長く続いている。

町長 中古物件の活用であれば一考の余地もあるが、近隣に適当な物件がない。



溜池ハザードマップ

「学童」に関しては歯切れの悪い答弁で疑問が残った。子供たちに安全な環境を平等に保障してもらいたい。

つぶやき





城後 光 議員



議員 町のふるさと納税返礼品の92%が波佐見焼であり、食品等の返礼品はわずかな割合である。

議員 食品分野において、返礼品開発を行うための支援を行う考えは。



昨年から就農されたいちごハウス

議員 置いており、読書できる場所が限られている。

議員 図書館の読書スペースを広げることはできないか。

教育長 図書委員会事務局の新庁舎への移転で生じるスペースを、図書作業

教育長 うか。これまで、冊数に注目していた部分が、図書館職員と十分に協議して、業務内容を改善し、空間としてもより良いものとしていきたい。

本年度の結果をどう捉えているか

教育長

厳しい結果で重く受止めている



横山 聖代 議員

議員 全国学力・学習状況調査及び長崎県学力調査の結果が公表された。本町では中学2年生の国語を除き、全国と県平均を下回っていた。

議員 学力向上における課題は。

教育長 読解力や書く力の定着。家庭学習の習慣化など細目の課題もあるが、何より学校、教職員の協同性が最大の課題だと捉えている。

現在、各学校ではその要因を「子供」「学校、教員」「家庭、保護者」に起因するものに整理・分析し、改善の手だてを考えている。

全国学力調査 (○:平均より上。/:未実施)

中学3年生	H31	R2	R3	R4	R5
国語	○	/	/	/	/
数学	/	/	○	/	/
英語	/	/	/	/	/

小学6年生	H31	R2	R3	R4	R5
国語	/	/	○	/	/
算数	/	/	/	/	/

長崎県学力調査 (○:平均より上。/:未実施)

中学3年生	H31	R2	R3	R4	R5
英語	/	/	/	○	/

中学2年生	H31	R2	R3	R4	R5
国語	○	/	○	○	○
数学	○	/	○	○	○

小学6年生	H31	R2	R3	R4	R5
理科	/	/	/	/	/

小学5年生	H31	R2	R3	R4	R5
国語	/	/	/	/	/
算数	○	/	○	○	/

教育長

4月のテストで、子供たちの前年の成果

議員

学力向上が読解力向上であるなら、いか

議員 標準学力調査が年1回から年2回の実施になり、先生方の意識向上に繋がるとのことだが、関連性は。

と課題を把握する。現学年担任の学習指導によって測られるのが12月のテスト。自覚と責任を持ってもらうことを期待している。

つぶやき

こんな難しいテストを受けている子供たち、実に素晴らしいよ。更なる学力向上へ実践的で積極的な取り組みを期待します。



教育長 魅力ある親しみやすい図書館について鋭意研究・検討し、早期に具現化したものを提案したい。

に子供たちが読書をするかだ。行政がすべきことは、そのための環境整備や図書館の充実ではないか。



前田 博司 議員

路線バスの定期券補助を

町長

様々な利用促進策を検討したい



議員

予約制乗合交通（のんなっせ号）は、改善を重ね利用率もアップしている。一方、町とその周辺を結ぶ交通手段は、多くの方が不便に感じている。

町長

佐世保嬉野線の現状はどうか。

令和4年のダイヤ改正により1〜2便減便となり、佐世保嬉野上下とも、一日9便運航。

理由は、運転手不足によるダイヤ合理化と聞いている。

また、欠損補助についての相談はないが、今後も運



町内を走る路線バス

議員

行状況に関する情報収集に努める。利用しやすい環境づくりとして、定期券の補助は考えられないか。

町長

新しい農産物を市場に出す手助けとして、飲食店とタイアップして、PRを兼ねた消費拡大策など、一つのアイデアとして十分に研究したい。

町長

町図書館は、総合文化会館の限られたスペースに位

議員

図書館の蔵書数が多いことで、職員に負担がかかっている面もある。よい読書が楽しくなるような図書館にしてほしいがど

町長

定期券への補助も一つの考え方ではあるが地域の実情や、事業者が抱える課題を考慮した上で、協議を進めながら利用促進に取り組みたい。

議員

公共工事等の発注については、DX推進により業務の効率化を進めなければならない。

町長

電子入札の導入を検討しているのと聞くが、その時期はいつ頃なのか。

長崎県電子入札システム共同利用につい

つぶやき

図書館をもっと多くの町民にとって身近なものにしてほしい！



つぶやき

町の内外を結ぶ路線の維持は、住民や観光などの来訪者にとってなくてはならないものだ。後手に回らないよう対策を。





脇坂 正孝 議員



議員

同館の管理と運営はどうするのか。

教育委員会事務局は令和6年1月には、役場新庁舎へ移転予定である。空き室となる事務室を含め、総合文化会館の有効活用が必要である。

現在同館は文化、生涯学習の場として多くの町民が利用されている。移転後もそのまま引き継ぎ、継続し、総合文化会館としての機能は維持していく。また、管理運営については、管理のみを町内の団体に委託したい。サービス低下に

町長

令和6年4月を目途にしているが、でき

議員

キャンプ施設の開設時期及び運営方法は、

現行の遊具設置場の乳幼児、障がい児が遊べる遊具を。下段にはアスレチックを設置予定。

町長

上段に、複合施設や

び設計を進めているが、整備については、他の路線もあり、総合的に判断し進めていく。



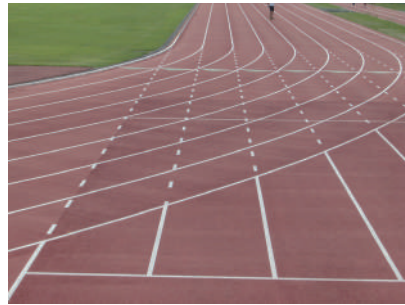
中学校に全天候型 走路を

教育長

設置は難しい



濱本 秋人 議員



全天候型走路

教育長

安全な走路を確保するには、他のクラブ

議員

陸上競技の大会はほとんど全天候型走路で行われている。中学校グラウンドに全天候型走路100mを3レーン程建設できないか。

議員

点検等は行われているのか。

町長

道路パトロールによる巡回点検が定期的を実施されている。緊急を要する場合は速やかに工事を実施し、少しでも早い解決につながるよう県と協議を進めてまいります。

歩道のインターロッキングが傷んでいる。歩道の整備が必要である。

に支障をきたし、グラウンドの土と異なる素材のため、怪我等の発生も起こりやすい。設置費用や維持管理等総合的に考えて設置は難しい。



河川

町長

工事の実施に当たっては現地を確認する

議員

工事計画はあるのか。

河川の浚渫工事が進んでいない。

必要があり、水の流れ等を判断して優先順位を決める。町内の河川には浚渫や樹木の伐採が必要な箇所が数多くあり、二級河川（県河川）の整備状況を踏まえ対応する必要がある。

つぶやき

子供たちの記録向上のためにも町に1か所ぐらいは全天候型レーンがあってもよいと思うが…。





北村 清美 議員

本町の財政状況は

町長

楽観できない



1%で以前と比べ大幅に改善している。しかし、歳入では町税など、一般財源の安定した十分な確保が困難で、「ふるさとづくり応援寄付金」による収入が大き

町長

財政の健全性を示す実質公債比率が8・

議員

本町の財政状況は。

日本でも若年層の減少が顕著に現れ、危機的状況に追い込まれており、本町も例外ではない。今後は厳しく、そして難しいかじ取りが予想される。

総合文化会館の機能充実を

教育長

機能は維持していく



本町の文化・生涯学習の拠点
総合文化会館

議員

遊具更新の概要は。

ならないよう、今後も調査研究を重ねて検討したい。鴻ノ巣公園では、遊具の更新とキャンプ施設の新設が予定されている。

町長

基本的に第6次総合計画に沿って進める

議員

令和6年度における重点政策は。

い。歳出においても扶助費、老朽化による公共施設維持費、義務的負担の増加など厳しい状況が予想される。楽観できる状況ではない。

が、自治体DX、人づくり、特に子育て支援策の充実。そして後継者・担い手不足による産業や農業振興を重点事業と考える。

議員

各種委員（特別職の職員で非常勤の者）

各種委員の報酬の見直しは急務である。

の報酬は。



いちごハウス

町長

小野原線は、幅員も狭く来園者の増加で車の離合等に支障があることは理解している。測量及

議員

取付け道路の改良は。

る限り前倒ししたい。運営は、町観光協会に管理委託の予定。

町長

一部の委員について検討を行っている。

社会情勢の変化もある中で、他自治体の動向を踏まえ、検討を行いたい。

つぶやき

もっと、積極的に自信をもって答弁してもらいたい。



つぶやき

総合文化会館は、本町の文化・生涯学習の中心施設として、図書館機能を再整備するなど今後とも維持・充実を図るべきである。



新庁舎 いよいよオープン

(令和6年1月4日)

議場を案内します



議員席（手前）と傍聴者席（後方）



執行部席



波高生デザインのスวิตッチカバー



傍聴席入口

ベビー
チェアが
男性用トイレ
にも！



傍聴者の声

9月定例会には延べ33人の傍聴者がありました。いただいたご意見を紹介します。

- 図書館の改革には近隣の図書館を参考にされたらどうでしょうか。
- 今後の学力向上に向けての対策に期待します。(60代)

- 居場所づくりについて検討・実現することを期待する。
- 子育て世代の人たちが図書館で気軽に本を読んだりする時間がない。教育委員会の後に「きしゃぼっぽ」に入ってもらい、無料託児を行ってはどうか。(60代)

- メリッタキッズ佐世保 + 武雄図書館のような施設を建て、文化的にも魅力ある波佐見町になり、若い方々が住みやすい行ってみたい街になることを願っています。(60代)

- 子供たちの居場所づくりで、連休があるときは議員が発言されたように波佐見講堂であそびひろばを開催してほしい。(60代)

次回定例会は12月6日から12月13日までを予定しています。

編集後記

9月定例会のメイン、決算審査は今回も分科会形式で、議員が5名と6名とに分かれ各所管課の審査を行いました。

決算の審査は諸施策の成果の評価を的確に行い、次年度予算の策定に活かすものです。少ない人数で十分な審査ができたか、町民の皆さまにも紙面をご覧になってご意見いただけたらと思います。

役場新庁舎のオープンと共に始まる新年が、波佐見町にとって平和で活力あふれる年となるよう祈念申し上げます。

(岡村真由美)

議会広報調査

特別委員会

委員長 田添 有喜
副委員長 澤田 昭則
委員 岡村 達馬
岡村 真由美
濱本 秋人
前田 博司

発行責任者

議長 百武 辰美